

# 仕事場 拝見

## 将来の夢



極東興和株式会社  
営業本部 技術企画部 技術企画課

坂田 安莉波



現場での仕事状況



同期との交流



現場での集合写真



携わった橋梁

幼いころ、きれいなメイクやかわいい髪型をし、キラキラと働く女性に憧れ、将来の夢は美容師と聞いていた。そんな私が、将来土木現場で指揮を取る仕事に携わるとは、両親そして幼い頃の私も、想像できなかっただろう。

成長するにつれ、将来の夢は変化していった。もちろん美容師への憧れはあったが、家具が好きな両親に影響されて、次第に家具やもっと大きなものを作る仕事に携わりたいと思うようになり、大学では土木を専攻した。そんな中、参加した現場見学会で、工事のスケールの大きさに圧倒され、橋梁工事に携わりたいと思うようになった。それが、私が橋梁の施工会社に就職したいと思ってきたきっかけである。

しかし、土木業界はまだまだ男性社会というイメージが強い。そんな業種に就職することは、不安もあった。ところが、就職活動を行う中で

女性が土木業界で活躍の場を広げていることを知り、男性社会というイメージが強い土木業界だからこそ、この業界で仕事を行ってみたいと思った。

現在、高知県高知市鴨部(かもべ)の町波川(はかわ)につながる高知西バイパス事業の枝川地区における橋梁工事に携わっている。その中で私は、「施工」橋をつくる過程において、「管理」マネジメントする、「施工管理」業務を行っているその業務内容は、作業工程の確認や協力業者への指示はもちろん、お金の管理から、資機材の管理、安全に効率よく作業できるように環境づくり、書類作成など多岐にわたる。

橋梁の工事は、スケールが大きい。作り上げるものも大きい、使用する機械も大きく、材料のボリュームも多い。少し間違えれば大きな事故を招きかねないし、ひとつ間違えれば大きな損失を生む可能性がある。そんな大きな責任を伴う仕事である。

また、この仕事のよいところは、何といっても、もの(橋梁)の出来上がっていくところを最も近くで見ることが出来ることだと私は感じる。桁、床版、壁高欄…と少しずつ橋梁の形になっていく姿を見るのはなんととも言えない嬉しさがこみ上げてくる。

いつの日か、私が初めて携わったこの橋梁を車で通ることを楽しみにしている。

最近では、テレビや雑誌で「ドボジョ」という言葉が取り上げられ、浸透しつつあるのはよさげなことである。そんな、土木を学習している学生や土木業界で働いている女性技術者の多くが抱える悩みや不安は、将来を考えるうえで周囲にロールモデルが少なく、長期展望を描きにくいこと、ではないかと思う。5年後、10年後…結婚や出産、子育てを経たあと、本当に社会復帰できるのだろうか？キャリアと家庭、どちらかを犠牲にしなくてはならない時期がくるのではないだろうか？

しかし、このように悩んでいても仕方がない。世の中には、キャリアと家庭を両立させ、輝いているキャリアウーマンがたくさんいる。土木業界でも同様に目指さないとはいけないと思う。ロールモデルがないのなら、私たちがロールモデルになればいいのだ。

今後は、男女関係なく継続就業に向けた環境づくりをともに考え、私もその一員として貢献できたら、と思う。幼いころ描いていたキラキラと働く女性に近づけるように…。

地図に残る

橋梁上から見た大井ダム



着工前



施工中



地域住民の方の現場見学会



完成



昭和コンクリート工業株式会社  
技術工事部 中部工事課

三岳 浩二

私は、高校生の頃将来何がやりた  
いかを明確に決めていませんでした。  
そんな時に当時、テレビCMで『地  
図に残る仕事』というフレーズを聞  
いた時に、(あつ、これ良いなあ。)と  
思ったのがきっかけになり将来土木  
工事に従事してみたいと思うよう  
になりました。その中でも、橋梁に  
心惹かれる所があり、当時瀬戸大  
橋が開通してたり伊勢湾岸自動車  
道の橋梁が間近(ちなみに名古屋出  
身)で見ることが出来たので、この道  
に進むことを決意しました。橋梁  
といっても、いろいろな工法があり  
鋼橋、コンクリート橋、木橋、石橋な  
どがあり、さらに構造形式が多種多  
様にあります。コンクリート橋で  
いえば、RC橋、PPC橋、PRC  
橋、そこからさらに桁橋、トラス橋、  
アーチ橋、エクストラードゾド橋な  
どがあり、私もまだ経験していない  
形式のものも多々あります。

私が今携わっているコンクリート  
橋梁工事の現場を紹介したいと思  
います。

場所は、岐阜県恵那市の山間の中  
の木曾川にかかる橋梁『新東雲橋』  
といます。この橋は、現在の東雲  
橋が昭和6年に完成していますが、  
道幅が狭く、老朽化が進んでいるた  
め、少し下流側に新たな橋梁を施工  
しているものです。ちなみに現在の

東雲橋は二代目で、初代東雲橋はさ  
らに下流側に明治42年に木製吊り  
橋が架かっていたそうです。今でも  
その名残りが残っています。

また、現場のすぐ上流には大井ダ  
ムがあり併設する大井発電所の日  
本で初めて作られたダム式発電所  
のダムであります。

新しい橋梁が出来上がると橋梁上  
(木曾川から約80m)からダムを見  
下ろすことが出来るようになります。  
す。

橋梁の形式は、3径間連続PC  
ラーメン箱桁橋で、脚頭部、柱頭部  
を施工してから専用の移動作業車  
を組み立てて、橋脚から順々にコン  
クリートを打設して行きます。

写真は、徐々に伸びていく状況で  
す。簡単に言うと橋脚からやじろ  
べえのようにバランスを保ちながら、  
互いの橋脚から伸びてきた主桁を  
中央付近で接続させて、橋梁をつな  
げていく工法です。

今回は、ひとつの橋脚から22回の  
コンクリートを打設して中央部の  
連結部までたどり着くまでに約8  
〜9カ月を要しました。

この間には、つらいことがたくさ  
んありましたが、いざ中央連結部に  
差しかけた時には感慨深いものが  
ありました。

また施工中は、現場見学会が頻

繁にあり、地域の住民の方がたくさ  
ん見学されました。

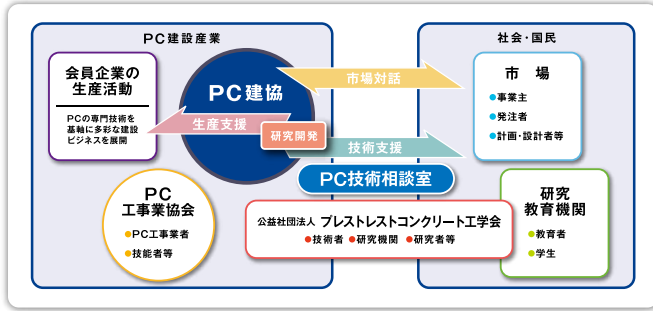
見学をされる方は、口々に『すご  
いねえ』『ここからなら恵那峡の花  
火も見晴らしがすごくいいねえ』な  
ど完成が待ち遠しくて仕方ない感  
じでした。いろいろな励ましや感謝  
の声を聞くと、この仕事やってよ  
かったなああと、いつもながら思いま  
す。

平成27年3月にすべての工事を  
終えて橋梁は出来上がりました。ま  
だ前後の取付道路が出来ていない  
ので通行は出来ませんが、八月頃に  
開通して通行できるようにするので、  
近くにいらしたらぜひ立ち寄り寄って  
てください。

社会人になり、橋梁の仕事に携  
わってから20年になり、いろいろ  
な橋梁を施工させてもらいました。  
まだまだ経験していない工法も  
多々あるので、これからも日々チャ  
レンジ精神を持って取り組んで生き  
たいと思います。

最後に、橋梁つてね、すごく良いで  
すよ。必ず名前が付くんですよ。  
そして地図に残るんです。





旅館 和可菜 (別名:ホン書き旅館)



PC建協 事務局  
山口 光俊

PC建協は、正会員、賛助会員を合わせると70社を超える会社からなる団体であり、現場でいうならば大型の共同企業体といえます。その活動は、新ビジョン2011においてPC建設産業と社会・市場とを繋ぐ架け橋となるために3つの役割を掲げて推進されてきました。本誌PCプレスをはじめとした積極的な広報活動を幅広く展開するとともに、発注機関等との意見交換などに取り組み「市場対話」、PC技術相談室の機能強化など幅広い技術相談への対応や、調査研究についての専門家派遣、PC技術活用情報の整備・提供を行う「技術支援」、そして各種マニュアル・手引きの整備、国総研・土研との共同研究、PC技術を支える人材育成など、会員企業の生産活動に寄与するための「生産支援」の3つです。

これらの活動を遂行するため、理事会を中心として運営委員会のほか広報、技術、保全補修、施工安全、建築の5つの委員会・幹事会・部会がそれぞれ組織されていますが、この運営を円滑に進めるためのサポートが事務局の役割になります。時代の変化に伴うニーズの多様化から事務局も増強されて、現在では事務局長のもと、事務次長、保全次長、企画次長、技術次長の4人で諸事務を分担しています。外から眺めていた印象とは

大違いで「世話人」「裏方」と呼ばれる事務局の仕事はなかなか大変なものです。一方で、PC業界の発展に向けた協会活動はまさに共同企業体のなせるもので、貴重な経験をさせていたんでいます。

PC業界の発展には、PCのファウンを増やすことが必要と言われていますが、本年度よりPC技術教育普及委員会が活動をスタートしました。PC技術の普及方法を検討する場であり、現場見学や教材の整備、ネットワークの構築など幅広い方策について検討が始められています。思い返すと、私がPC業界に入ったきっかけも、大学時代にPC工場を見学させて頂いたことが大きな動機でした。昨年度、PC建協が主催する現場見学会は十数回開催されていますが、このような取り組みによって、PC業界へ興味を持ってくれる方が増えてほしいと思います。

さて、私の仕事場は飯田橋駅より10分程度歩いたところ、和の情緒あふれる街並みで散策スポットとしても人気の神楽坂の目と鼻の先にあります。「景観」や「食」がよく取り上げられる神楽坂ですが、歴史や文化も興味深いものがあります。尾崎紅葉や泉鏡花、北原白秋、夏目漱石…、歴史に名を刻む文豪たちが時を過ごし、名作を産み落としたところでもあり、

別名「ホン書き旅館」と呼ばれた名店や、文豪たちを称えた碑や公園、旧居跡も残っています。また、第二次世界大戦が起こり灰燼に帰す前、明治中期から昭和初期にかけて「花街」として栄え、昭和十年頃には料亭150軒、芸者・期間合わせて600人と隆盛を誇っていたとのこと。そして、周辺には神楽坂のシンボル「毘沙門天善國寺」をはじめ、縁結びの神様で有名な「東京大神宮」、平和な国家の願いがこめられた「靖国神社」など多くの寺院があります。

「景観」「食」「歴史・文化」と揃った神楽坂はファンがとても多いことでは知られていますが、「人が集まる」「人の興味を引く」このような場所には、PCのファンを増やすヒントがあるかもしれません。PC構造物はスレンダーで美しく(景観)、多くの分野で形を変え活用され(食)使用されています。PC業界も還暦を迎えましたが、その歴史や文化を含めたPC構造物の魅力(物語)がPCプレスなどを通じて多くの方に知ってもらえたら、きっとファンは増えると思います。

皆さんも神楽坂の近くに來られることがあれば、散策してみたいかがでしょうか。そして、是非、事務局へも足を伸ばしてください。笑顔とおいしいコーヒーで歓迎いたします。